



こんにちは

日本共産党 坂本みえこ です

3月号

日本共産党
世田谷区議会議員

坂本みえこ事務所 ● 世田谷区太子堂4-5-2 TEL 03-3419-7721 FAX 03-3419-7673

公営住宅の新たな整備で 高齢者の住宅問題の解決を

2月に行われた区議会定例会で、高齢者の住まいの問題について質問しました。

高齢者にとって、

住まいの問題は深刻です。働いている間は賃貸住宅に問題なく住んでいても、年金暮らしになると、家賃が高すぎて払いきれなくなってしまうことがあります。引越すにも、民間のアパートやマンションの多くは、高齢だというだけで貸してくれません。



世田谷区住まいサポートセンターでは、高齢者向けに物件情報提供を行っています。物件が多く住む気にならない、と伺いました。高齢者が住み続けるためには古い物件ばかりでは、すぐに取り壊しなどで出ていかなければならない可能性もあります。

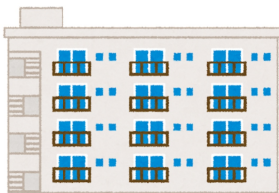
なぜ高齢者に貸したくないかという点、「居室内での死亡事故等に対する不安」が大きいといわれています。

区議会質問では、見守りの体制を整えるなど、高齢者に貸し出せる物件を増やすことを求めました。

区は「民間賃貸住宅の大家等の不安を軽減し、高齢者の入居促進を図るため、安否確認と原状回復費用の補償がセットになった見守りサービスについて、初回登録料を借借人に補助する制度を実施しているが、昨年度の実績は3件に留まった。今後は…普及啓発に取り組むなど、高齢者が安心して暮らせるための支援を推進していく。」と答弁しました。

公営住宅増やして

昨年、希望丘団地周辺で「生活と健康を守る会」が都営住宅の申し込み相談会を行ったところ、団地住民のみならず「家賃の安い都営住宅へ住み替えたい」と30名以上も相談に来られたそうです。



世田谷区の公共施設等管理計画では公

営住宅について「適正な戸数を供給する」とされています。公営住宅の新たな整備なしに、高齢者の住宅問題の解決はできないのではないか、踏み出すべき、と質問し、区は以下の答弁を行いました。



● 高齢者を始め、障害者や低額所得者等の住宅確保要配慮者の居住を支援するため、公営住宅の果たす役割は重要であると認識している。

● 第4次住宅整備方針では、住宅確保要配慮者への「居住支援の推進による安定的な住まいと暮らしの確保」を重点施策として掲げ、区営住宅の供給をはじめとした公的住宅のセーフティネット機能を強化することとしている。

● 今後は、これらの計画に基づき、都営住宅の移管受入れや、既存区営住宅の改築に合わせ住戸数を増やすなど、区営住宅の供給に努めるとともに、都営住宅や東京都住宅供給公社の住宅建て替え時に、戸数を増やしていただくよう要望するなど公的住宅の戸数確保に努めていく。

引き続き、安心して住み続けられる住まいの確保を求めていきます。

ひとり暮らし高齢者の 終活登録制度

世田谷区に限らず、単身世帯の方が倒れた場合や亡くなった場合に、せっかく書いておいたエンディングノートの保管場所や、お墓の所在地さえ分からなくなる、さらに引き取り手のない遺骨が増えているなどの事態が起きています。

現在いくつかの自治体で「終活支援事業」が行われています。

緊急連絡先、かかりつけ医師やアレルギー等、臓器提供意思、血液型、エンディングノートの保管場所、遺言書の保管場所、お墓の所在地、生命保険・預貯金、葬儀や遺品整理の生前契約先などの

『終活関連情報』を、生前に登録し、病气やケガ等により意思表示ができなくなった時や死亡した時、病院・消防・警察・福祉事務所や、本人が指定した方に開示して、本人の意思の実現を支援する、という事業です。「もしもの時」に必要な情報を、ご家族や大切な方に伝えられるようにするものです。

世田谷区の高齢者人口と高齢化率は微増傾向で推移しています。



65歳以上の高齢者の

世帯状況をみると、令和5年4月現在、単身世帯の方が34%。世田谷区でも終活登録制度の導入を検討できないか質問しました。

区は「超高齢社会を迎え、身寄りのない一人暮らし高齢者や、ご家族や親族がいても遠方いたり、繋がりが薄く支援を受けられない方が増加している。そのような状況の中で、相談する方などがおらず不安に思う高齢者への対応は社会的課題であると認識している。区としても、他自治体の取組みを参考に高齢者の方が安心して暮らせるための方策を検討していく」との答弁がありました。

さらに横須賀市では、一人暮らしで頼れる身寄りがなく、生活にゆとりのない高齢市民が対象の「エンディングプラン・サポート事業」をおこなっています。あらかじめ協力葬儀社と生前契約し、葬儀等にかかる費用を預け、万一の場合には、横須賀市と協力葬儀社などの関係機関が連絡を取り合っており、迅速に伝え、葬儀等を円滑に進めることで、一人暮らし高齢者の「葬儀・死亡届



出人の確保・納骨・延命治療などの心配事に向き合っています。このような仕組みについても世田谷区で取り組んでいただきたい、と求めました。

区は、身寄りのない方の葬儀等に関する関心は非常に高いと認識しており、引き続き、他自治体の類似の仕組みを参考にし、実効性のある仕組みの研究・検討を進めていく、と答えました。

身寄りのない一人暮らしの高齢者が葬儀などの不安を解消して、安心して暮らせるようにして行きましょう。

先日、区議会議員になって初めて、区立幼稚園の卒園式に参加しました。

区立幼稚園における医療的ケア児、要配慮児に係るニーズは高まっており、令和四年度で在園児に占める要配慮児の割合はなんと平均25.2%。

配慮が必要な子どもの頑張りや、周りの子どもたちがやさしくお世話する姿にふれ、親戚でもないのに感動の涙。

世田谷区立幼稚園の集約化計画が進んでいます。区立幼稚園がだんだんなくなってしまうと、配慮が必要な子どもたちはどうなるのでしょうか。

